

両市の友好関係構築に尽力された功績 名誉市民に「福田昭子さん」

武雄市の姉妹都市である米国カリフォルニア州セバストポリス市から、福田昭子さん（たけおワールドフレンズ前会長）に対し、名誉市民の認定書が贈られました。福田さんはたけおワールドフレンズの役員として、セバストポリス市との交流に携われて25年になります。



左から
樋渡市長、福田昭子さん、
ロバート・ジェイコブ市長

ECO検定アワード2013 エコユニット部門「優秀賞」受賞

3月14日、武雄市朝日町の株式会社セリタ建設は、東京商工会議所が中心となって環境活動を行う団体や個人へ向けて実施している、環境社会検定（通称：eco検定）において評価され、「eco検定アワード2013（エコユニット部門）」で、77団体の中から、「優秀賞」を受賞されました。この度、柏岳（武雄町）における森林保全活動と、地域活性化に向けた森林整備の第六次産業化展開「間伐材を

利用したアロマオイル（モリレコ）販売等」が評価され、「優秀賞」を受賞されました。今回の賞を受けて、芹田章博専務取締役は、「地元の方、特に将来を担う子供達の為に出来ることに取り組んだ。『環境』というキーワードに対して取り組むことに、会社の大小や、地域は関係無いし、平等に評価を受けられる。当社をきっかけとして、大企業に負けない質を持つたくさん市の市内事業者がこのような取り組みで力を発揮してほしい。そして、共に武雄の街を良くしていきたい。」という力強いお言葉。今後もこのような地域と共に歩む方々・企業が益々増えることを望んでおられました。



左から
（専務取締役）芹田章博さん
（総務部）坂口奈美佳さん
（総務部長）中島豊さん

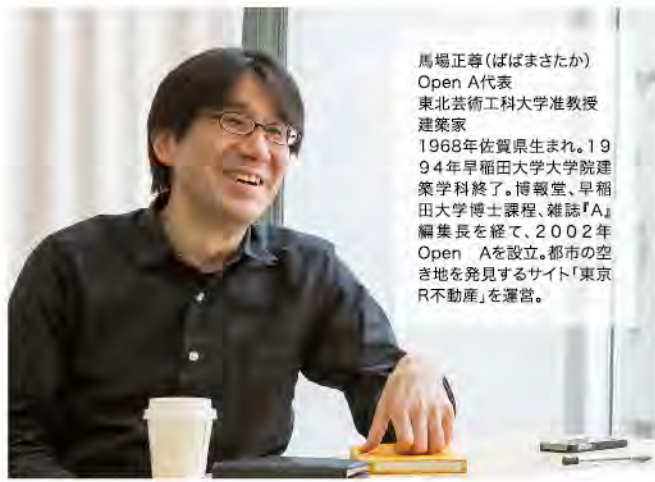
※「eco検定」とは、2006年に試験開始。これまでに約33万人が受験し20万人の合格者が誕生。

※「エコユニット」とは、eco検定合格者2名以上の主体による環境保全活動を行うグループ。2014年1月現在で156ユニット（団体）が登録済み。

佐賀県初の
カーボンオフセット付き商品
「アロマディッシュギフトセット」

建築家×市長 馬場正尊氏 市長と対談

建築家の馬場正尊さんが樋渡市長と、取材を兼ねて図書館で対談されました。共に佐賀県出身者として、新たな価値を世に見出してきた経験から、仕事は壁を無くして様々な人やモノを「組み合わせる」ことで新たな価値が生まれる、という共通認識に話が膨らみました。建築業界の異端児として新しい不動産の捉え方を提唱してきた馬場さんは、今回の対談を通して、地方から新たな可能性が生まれることへの魅力を再認識された様子。樋渡市長は、「市民満足なのか、顧客満足を目指すのか、という点で異なっても仕事の取り組み方は共通している。優れたものを目指すため、自分たちなりの『定義』をつくっていくことが要である」と、2人のこれまでの実績に共感しながら、話をまとめておられました。



馬場正尊（ばばまさたか）
Open A代表
東北芸術工科大学准教授
建築家
1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科終了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌「A」編集長を経て、2002年Open Aを設立。都市の空き地を発見するサイト「東京R不動産」を運営。

武雄市議会 3月定例会

武雄市議会では、2月24日から3月12日までの17日間、市長提出議案29件のほか、意見書など、計32議案が審議されました。また、一般質問は8名の議員から29項目の通告により2日間の日程で行われました。

条例・事件議案

「武雄市社会教育委員条例及び武雄市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例」、
「武雄市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」、
「平成25年度武雄市水道事業会計資本金の額の減少について」など、9件が原案どおり可決されました。

予算議案

「平成25年度武雄市一般会計補正予算」（第9回・第10回）、「平成25年度武雄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）」のほか、7件の特別会計、企業会計の補正予算、また11件の一般会計、特別会計、企業会計の平成26年度予算について、原案のとおり可決されました。

その他

「TTPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書」、「杵東地区衛生処理場組合からの脱退を求める意見書」は、いずれも全会一致で原案どおり可決されました。

計32議案等のうち、7件を除いては全て全会一致での可決となりました。

3月定例会の詳しい情報は、
武雄市ホームページからご覧いただけます。
<https://www.facebook.com/takeocity>
HOME>市政情報>市議会>3月定例会

